

競技注意事項

本大会は2021年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、大会要項及び下記事項により実施する。
本大会は（公財）日本陸上競技連盟、並びに（一財）日本実業団陸上競技連合の広告規程を適用する。

1. 競技場への入場は、東側ゲート、退場は西側ゲートを通りスタンドに帰ること。
2. 招集について
 - (1) 招集所は、東側砂場付近とする。
 - (2) 招集時間は、トラック競技20分前、フィールド競技は30分前に招集を完了すること。
3. 予選の必要がなくなった場合は、決勝時刻に決勝を行う。
4. バーの上げ方
 - 走高跳（男） 1m80より1m95までは 5cm刻み、以降は 3cm刻み
 - （女） 1m50より1m65までは 5cm刻み、以降は 3cm刻み
 - 棒高跳 3m80より4m40までは20cm刻み、以降は10cm刻み
5. 競技用靴のスパイクは11本以内で、長さ9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は12mm以下とする。また、スパイクの先端近くで少なくとも長さの半分以上は4mm四方の定規に適合しなければならない。25mmを超える規定外のシューズは使用できない。シューズ底の厚さは改訂規則を適用するので、召集前までに競技者係で検査を受けること。規則に違反したシューズの使用は出来ないので注意のこと。
6. 競技用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。ただし、個人所有のハンマー、円盤、砲丸、やりの使用を希望する者は、その種目の競技開始時刻1時間前までに係員に器具の検査を受け、合格したものに限り許可する。
7. 表彰は、決勝終了後、直ちに行う。優勝者は速やかに本部前に集合すること。2位・3位の入賞者は表彰状を本部へ受け取りに来ること。（但し、5000m・10000mの表彰は5月16日（日）に行なう）
8. アスリートビブスは、所定のもを必ず胸背につけること。但し、跳躍種目の場合は胸・背のどちらかに付けるだけでもよい。
(レーンカード及び腰ナンバーカードは、競技者係が配布するが、ゴール直後係員に返却すること。)
9. リレーオーダーは、招集完了時刻の60分前までに競技者係へ提出すること。
10. 男子5000m以上は出場人数が多いので2段階式スタートとすることがある。
11. 男子110mH、400mH、400m以上はタイムレースとする。
12. 競技中「助力」を受けてはならない。（競技規則：TR6）
13. 携帯電話、ラジオ、CD、その他通信が可能な機器の競技場内への持ち込みを禁止する。
14. 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもっていても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
15. 各チームは選手の健康管理について十分留意すること。競技にともなう事故等については、主催者は応急処置のみ行うが以後の責任は負わない。
16. その他、必要事項はその都度アナウンスにより伝達するので注意すること。
17. ゴミは各自の責任において持ち帰るようにすること。